

# 授業科目 経営学

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	情報
佐藤 正		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○		
【概要】					
<p>我々の生活は、企業活動と密接に結びついている。我々が生活において必要としている様々な物資やサービスは、ほとんどが企業から提供されている。多くの人は、それを購入するための資金を企業で働くことによって獲得している。企業活動の安定と発展は、社会の安定と発展のために不可欠である。</p> <p>「経営学」という学問領域は、この企業活動を研究対象としており、第一にそのメカニズムの解明をおこない、第二にこれを基礎にして、健全な企業活動の推進のための方策を提示する。企業活動が複雑かつ多様であることから、「経営学」には様々な部分領域が形成されている。</p> <p>この「経営学」という授業科目は、企業活動全般について基本的な要点を提示し、これから「経営学」全体を詳しく勉強していくために必要な基礎的な知識の習得を目標としている。</p>					
【学習目標】					
<p>「経営学」分野の諸科目を学習するに際して基礎となる、次のような項目についての基礎的な知識を習得する。</p> <p>1) 企業活動の基盤である市場経済の特徴と企業の基本的機能</p> <p>2) 企業活動の基本的内容</p> <p>3) 企業活動の社会性</p> <p>4) 企業活動を支える会社制度、とりわけ株式会社制度</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 私たちと企業、経営学はどんな学問か				
2	2. 企業活動と市場経済（企業活動の基盤）（1）私有財産制度				
3	"（2）市場制度				
4	3. 企業の誕生と運営（1）企業の誕生				
5	"（2）企業活動の運営				
6	"（2）企業活動の運営（つづき）				
7	4. 企業活動の展開（経営戦略）（1）市場競争				
8	"（2）製品・事業のライフサイクルと多角化				
9	"（3）国際化				
10	5. 企業と社会（1）企業活動の社会性と企業倫理、わが国企業の反社会的行動の事例				
11	"（2）社会と調和した企業運営の体制				
12	6. 会社制度（企業活動のための法的枠組み）（1）株式会社の仕組み				
13	"（1）株式会社の仕組み（つづき）				
14	"（2）株式会社の資金調達				
15	"（3）M & Aと企業再編				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ゼミナール 経営学入門 第3版	伊丹敏之、加護野忠男	日本経済新聞社	2003・3,150円
		経営学の基礎 第3版	経営能力開発センター 編	中央経済社	2009・2,730円
		経営学	小松章	新世社	2003・2,280円
		経営者自己統治論	平田光弘	中央経済社	2008・5,000円
		会社法（第12版）	神田秀樹	弘文堂	2010・2,500円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況とテスト（ミニテストと期末テスト）の成績を総合して評価する。		<p>授業内容を記したプリントを配布し、これによって授業を進めるので、毎回出席すること。その時々々の時事問題についても解説するので、新聞（できれば日本経済新聞）の経済欄に常時目を通してきて欲しい。</p> <p>毎回、質問の時間を設けるし、出席調査票を質問票兼用とするので、不明の点は随時質問して欲しい。</p>			